

# 新たな時代の創造



白石市長  
川井貞一

新年あけまして

おめでとーございます。

昨年は、北朝鮮拉致問題やアメリカ経済の失速など、社会、経済とも全世界を混沌とした影が覆いました。

わが国においても、デフレスパイラルに陥る中、政治、経済とも出口の見えない閉塞感に包まれております。

当市においても、雇用情勢の悪化など、地域経済も厳しい情勢下にありますが、ソニー白石セミコンダクタ株の新棟建設など、明るい話題もありました。

さて、昨年は白石市のまちづくりの大きな柱のひとつであります「健康・福祉都市」の実現に向け、

待望の新公立刈田総合病院がオープンし、最新の医療機器と充実した医療スタッフにより、救急医療体制も整い、これまで以上に質の高い医療サービスを提供するとともに、福祉の里とのネットワークも強化され、「保健・医療・福祉」の連携、一体化がより強固なものとなりました。

また、これまで白石市が進めてきた城下町の歴史ある街並みと、市民参画で建設した現代的な建築物との調和が、世界的な評価を受け、デガロ・ミノス国際建築スポンサー賞を受賞することができました。

環境面においては、限りある資源を有効利用し、地球環境への負

荷を低減させたまちづくりを推進するため、国際環境マネジメント規格である「ISO14001」の認証を取得し、今後もこのシステムを維持、管理し、一層のごみ減量化に努めてまいります。

その他、昨年の白石市の各種施策につきましては、次頁の「白石市の十大ニュース」をご参照ください。

今年も、全国で三番目、東北では初めてとなる「電子投票」を実施することとなります。

実際体験なされた方はおわかりいただけると思いますが、操作は非常に簡単であります。

白石市の財政運営が全国においても非常に高い評価をうけているのは、いち早くIT革命に対応し、インターネットの整備を進め、行政の効率化を図ったのが大きな理由であります。

この電子投票も、市民サービスの向上につながることも、将来に向けてさらなる行政効率化へのチャレンジであります。



▲5月にオープンした新公立刈田総合病院

新年  
の  
ごあいさつ



ているE.U型を目指すものであります。

そのための、「柿の里構想」「小原の寒葛」「蔵王高原そば」さらには、白川内親地区の「コスモス園」小原の「スパッシュランパーク」など各種施策であります。

また、作付けをするだけでなく、地元の農産物は地元で消費する「地産地消」を図るための施設が、昨年オープンした「ポーチパーク」や本年四月に復元される材木岩公園内の検断屋敷に隣接した休憩施設であります。

白石市の施策は、平成十三年度より、ハード事業からソフト事業へ大転換しております。



▲白石市農業祭会場に設けられた電子投票体験コーナー

その中で、平成十六年四月に市制施行五十周年を迎え、その記念事業として、本年八月に開催予定の「第五十五回全日本学生新体操選手権大会」をはじめ、宮内庁「雅楽」の公演、NHK「のど自慢」の開催、「市民オペラ」の上

演、「記念年表」の作成など各種記念事業を開催する予定となっております。

特に、白石市においては空前絶後となります。宮内庁直接派遣の「雅楽」公演が、平成十五年秋頃にホワイト・キューブで行われる予定となっております。

都市基盤の整備においては、第一期循環線として、国道四号バイパス、森合雁狩橋線、さらに昨年



▲中心市街地の賑わい創出と農産物の地産地消を目指したポーチパーク

開通した、国道113号郡山工区（東北本線アンダーパス）、新旧国道113号を結ぶ都市計画道路中河原白石沖線により、市内中心部の循環線が完成しました。

今後は、昨年、国の事業採択を受けた市道沖の沢郡山線の整備を進め、市街地全域を網羅するための第二期循環線の完成を目指してまいります。

本年は、市制施行五十周年を目前とした新たな時代の幕開けとなる年でもあります。今後も個性あるふるさと白石のまちづくりに邁進する所存でありますので、市民の皆様のお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。



▲整備の進む検断屋敷および休憩施設(材木岩公園内)

カップリングがようやく施策として見えてまいりました。

中山間地の農地が多い白石市の場合は、直接所得補償を行うアメリカ型のデカップリングを導入すれば、多くの中山間地農業が安楽死してまいります。

白石型デカップリングとは、ヨーロッパにおいて、かつては国防上の必要性により、国境付近に人が生活してもらうために補償していたものを、環境美化や環境保全を図るためのものに転換されてき



白石市議会議員  
鈴木康弘

明けましておめでとーございませう。

新春を迎え、市民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。また、日頃から市議会に温かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新世紀を迎え二年を経過しましたが、我が国の出口の見えない経済状況を克服するため、政府は、社会システムの変革として、構造改革に取り組んでおります。

しかし、国土の均衡ある発展を目的に創設された「道路特定財源」を「一般財源化」しようとすることをはじめ、地方財源改革においては、国庫補助金の削減・廃止、地方交付税の見直し、地方への税源移譲の「三位一体」をめぐる迷走しているところがあります。

このように混乱している時代こそ、改めて「幸せとは、豊かさとは何か」を考える必要があると思えます。時は違えども先人の残した名言、格言の中に未来を展望す

る知恵が秘められていると感じております。

一方、白石市議会としては、自己決定、自己責任という地方分権時代も四年を迎え、その使命もおのずと拡大されたものとして議員各位の英知を

さらに結集し、環境、医療、福祉、産業そして道路などにおいて、市民が安全に安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります。

また、議会の活性化を図る早道は市民の期待にこたえる個々の議員の地道な活動にあると思っておりますので、初心に振り返り進んでまいりたいと考えております。

さらに、議員の調査研究に用いる政務調査費について全国オンプズマン連絡会議が透明度を調査したところ、本市議会の透明度は、全国第4位にランクされました。議会の透明度とともに開かれた議会に向けた議会改革に取り組む必要があると、議員一同決意を新たにしております。

市民の皆様におかれましては今年一年ご健勝で充実した一年でありますよう心からご祈念申し上げますとともに、市議会の活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。頭のごあいさつといたします。